

市町村名：田野畑村
 学校名：田野畑村立浜岩泉小学校
 担当者名：宇部 輝彦

学校における特色ある食育実践事例の紹介

教科名等	総合的な学習の時間・生活科				
单元名等	農園作業（大豆・さつまいも作り）に取り組もう～祖父母ふれあい収穫祭をしよう				
取組学年	全学年	取組時期	5月～11月	毎年実施の有無	有
取組内容	<p>1 大豆・さつまいも作り</p> <p>総合的な学習の時間・生活科の時間に、地域の方を講師に、この地域で一般的な作物である大豆・さつまいも等の栽培に取り組んでいる。 種まき・種芋の植付けから草取り等の世話、そして収穫までを、1年生から6年生までの縦割り班で活動している。</p>  <p>大豆の種まきの様子</p> <p>2 祖父母ふれあい収穫祭</p> <p>高学年は大豆を使い、家庭で一般的に行われている豆腐づくりを、地域のお年寄りの指導の下、実際に体験してみる。 低学年は収穫したさつまいもで焼き芋づくりをする。新聞紙とアルミ箔でいもを包み、裏山で薪を拾いいもを焼く。 出来た寄せ豆腐・焼き芋は、参会者全員で会食する。</p>  <p>豆腐づくりの様子</p>  <p>会食会では、参会者のお年寄りの方々が持ち寄った漬物などに舌鼓を打ち、低学年も寄せ豆腐を2杯、3杯とおかわりする姿が見られた。 会食後は、お年寄りの方々と地域に昔から伝わる遊びで交流を深めた。</p> <p>(なお、祖父母ふれあい収穫祭の様子は岩手日報紙で紹介され、本校は平成16年度「小さな親切」実行賞を受賞した。)</p> <p>会食会の様子</p>				
本取組を行っている理由	学校農園で春から長期間にわたって世話をしてきた野菜を収穫し、その喜びをみんなで味わうこと、また、身近な年長者に野菜の調理や加工の仕方を教わることにより、地域に伝わる食や地域の農業について考える機会にしたいと考え、本取り組みを行っている。				

※取組内容のわかる写真等があれば、添付してください。